

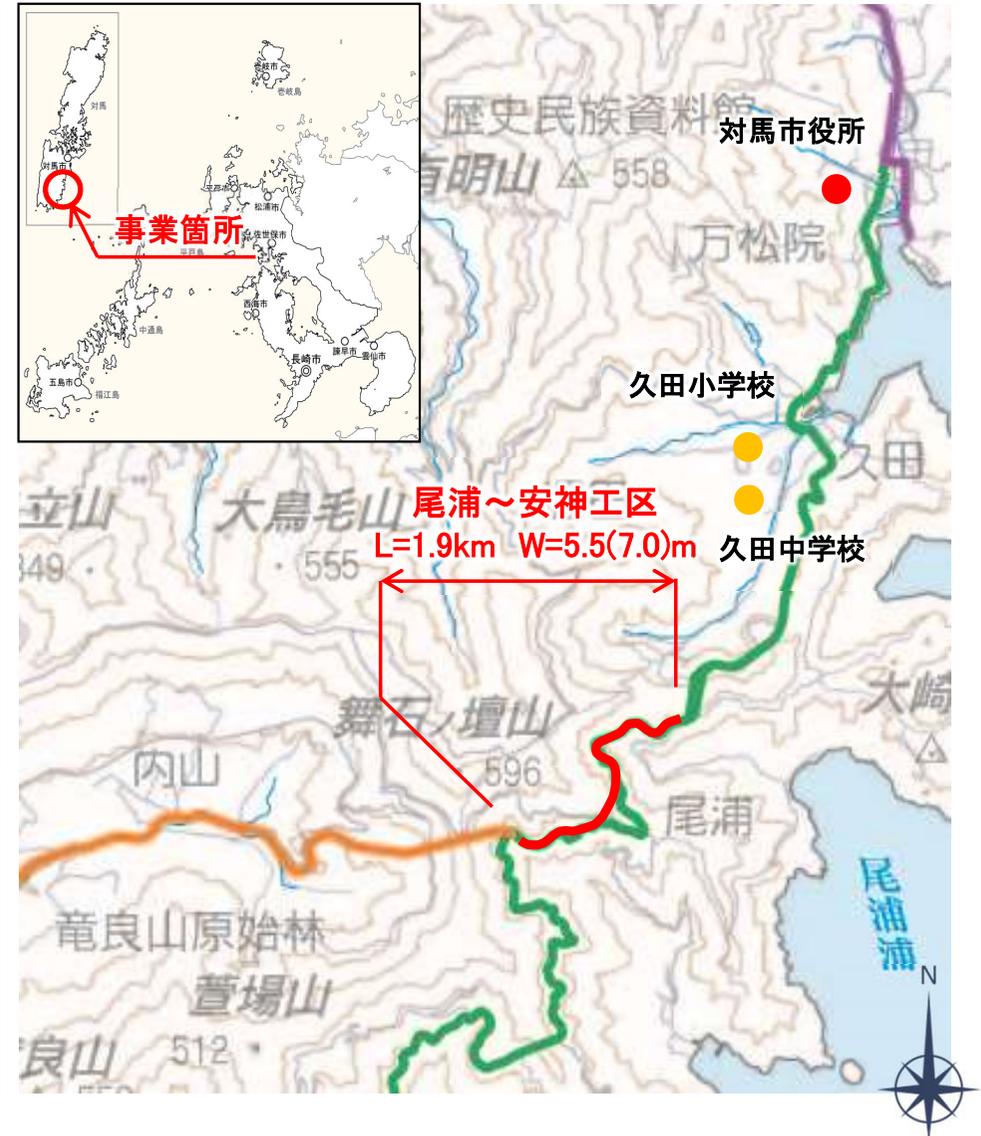
# 令和7年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

## 再評価対象事業

道建-11 道路改築事業  
主要地方道巖原豆酸美津島線  
(尾浦～安神工区)

事業主体 長崎県

再評価の理由 再評価後変更(事業費・工期)



# 1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	備考
		着工	完了			
当初 (H26新規)	-	H27	H33	20.0	1.10	【工事概要】 延長1.9km 幅員5.5(7.0)m
第1回審議 (R1年度)	事業採択後 5年経過	H27	R6	38.0	1.06	【当初評価からの変更概要】 地盤改良の追加等に伴う事業量の増加による工期延長 法面工の工法変更や補強土壁工の地盤改良追加に伴う事業費増額
第2回審議 (R4年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H27	R8	51.0	1.01	【第1回審議からの変更概要】 補強土壁背後の法面処理等に伴う事業量の増加による工期延長 補強土壁工背後の法面処理追加やトンネル発生土の小割・運搬、法面工の工法変更に伴う事業費増額
第3回審議 (R7年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H27	R9	55.0	1.01	【第2回審議からの変更概要】 法面工の工法変更や物価上昇に伴う事業費増及び工期延長

# 2. 目的・事業概要・これまでの経緯

## ◆目的

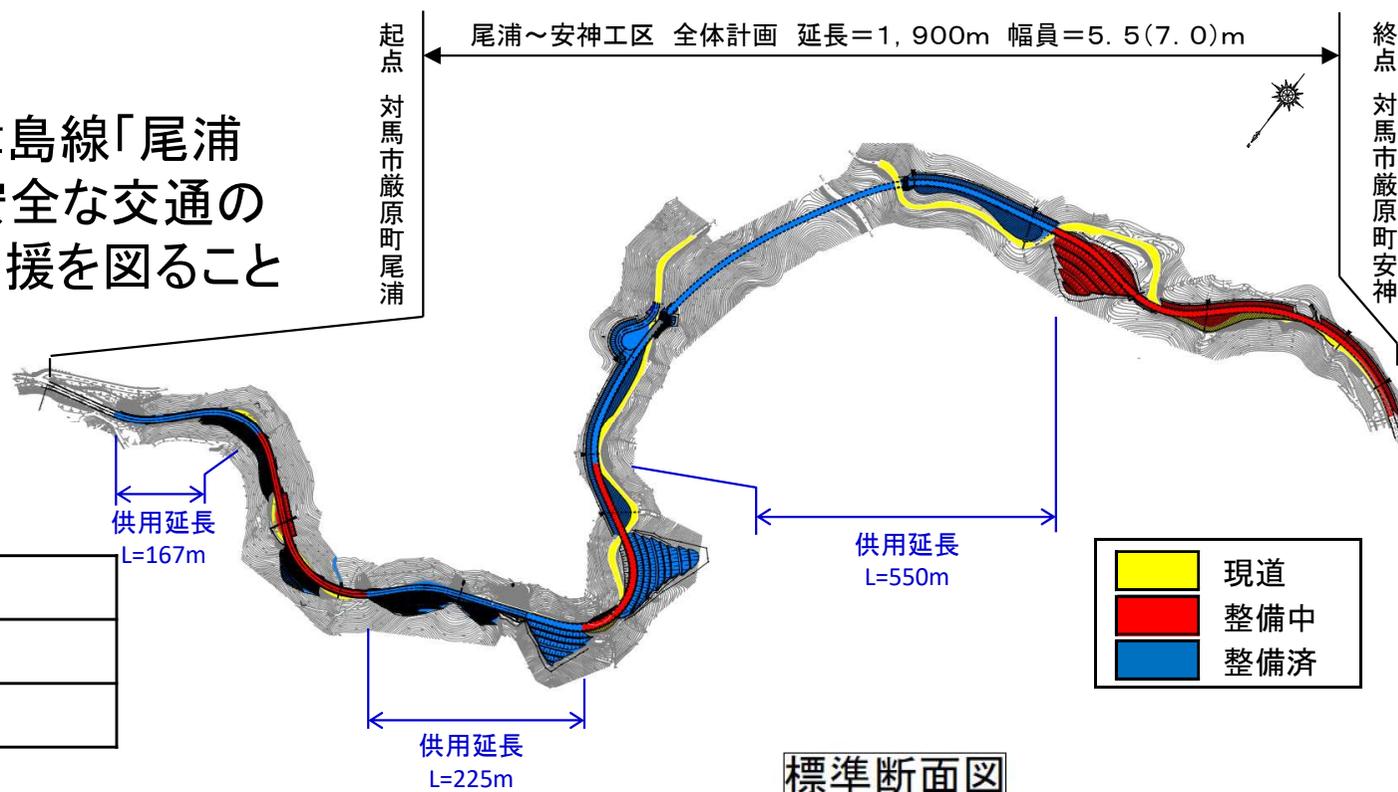
主要地方道巖原豆酩美津島線「尾浦～安神工区」は、円滑で安全な交通の確保及び観光等の産業支援を図ることを目的としている。

## ◆事業概要

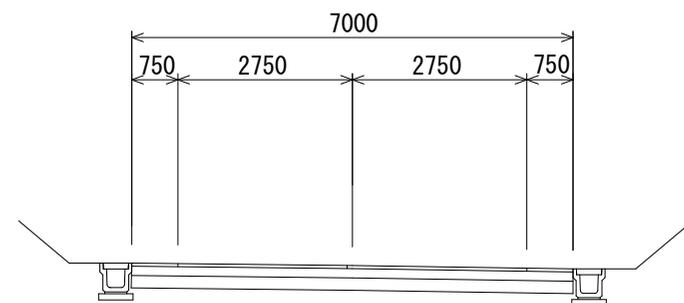
計画延長等	L=1.90km
幅員	W=5.5(7.0)m
計画交通量(R22)	2,568台/日

## ◆事業経過

平成27年度	事業化
平成27年度	用地買収着手
平成27年度	工事着手
平成29年度	用地買収完了
令和4年度	設計完了
令和6年度迄	942m供用開始



標準断面図

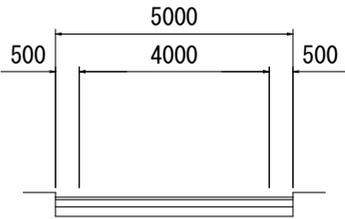


**【令和7年3月末現在】**  
 事業進捗率 78 % (事業費ベース)  
 用地進捗率 100 % (面積ベース)

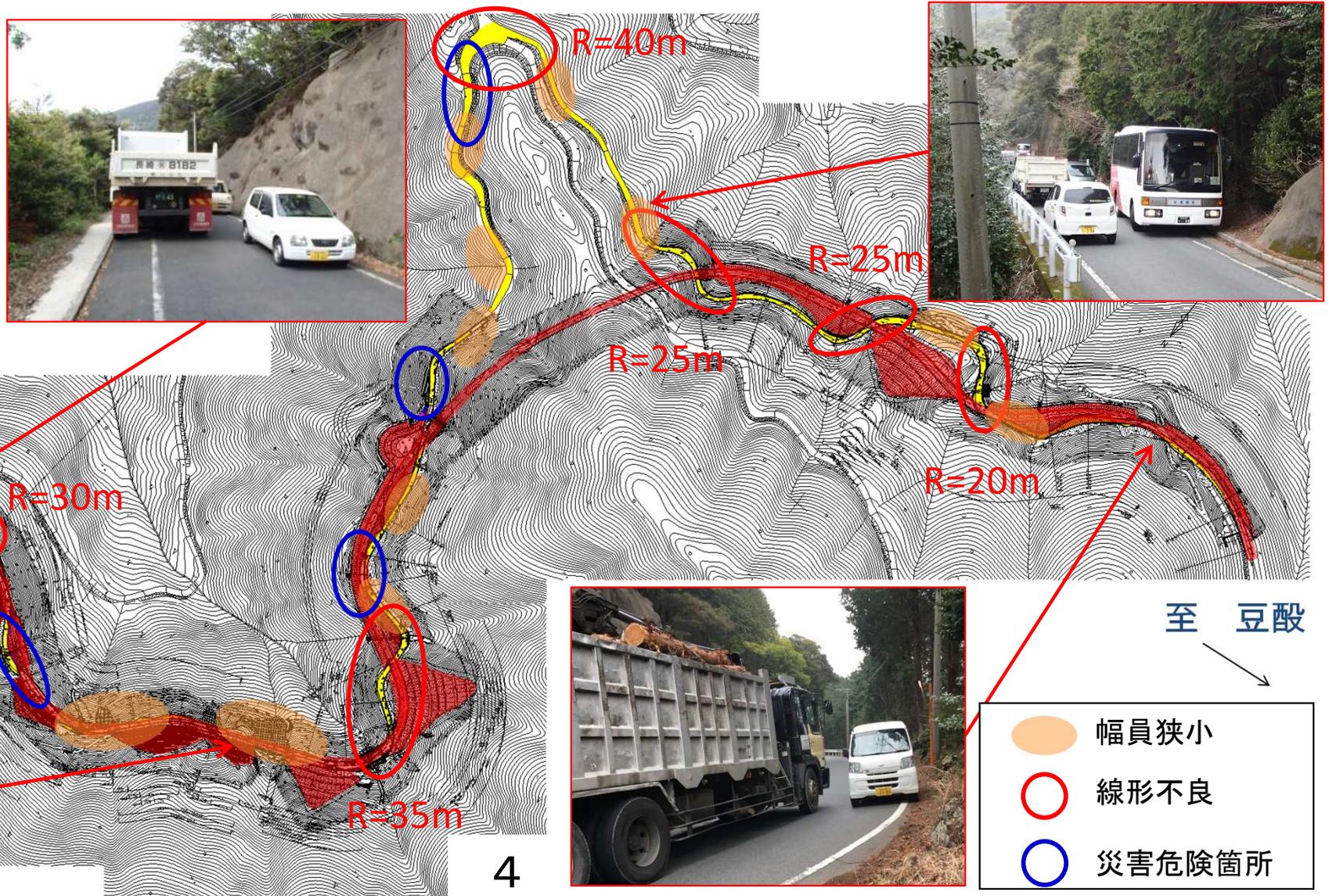
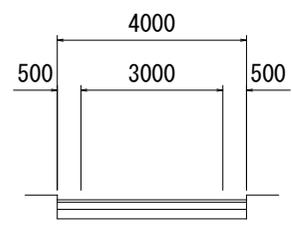
### 3. 事業の効果・必要性

- ・幅員狭小及び線形不良により通行に支障をきたしている。
- ・緊急輸送道路であるが、災害危険箇所がある。

改良前 標準断面図

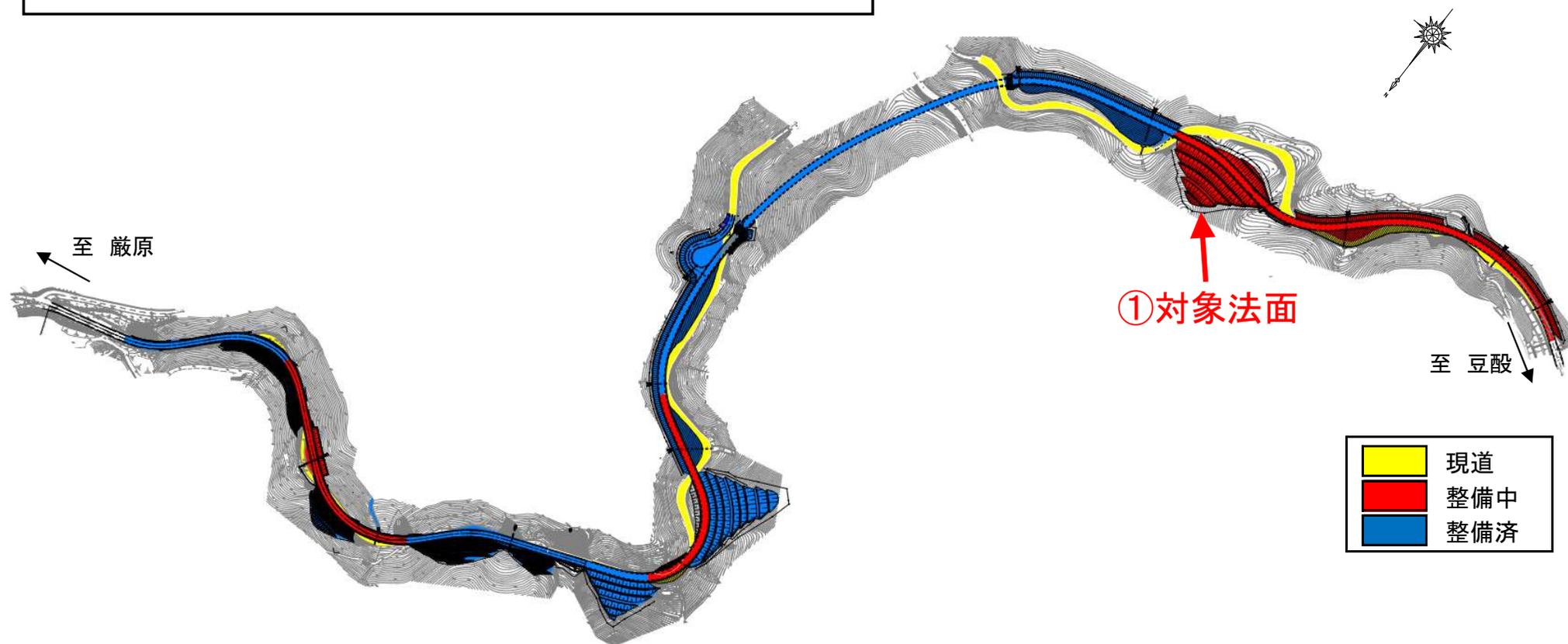


幅員狭小部 断面図



## 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

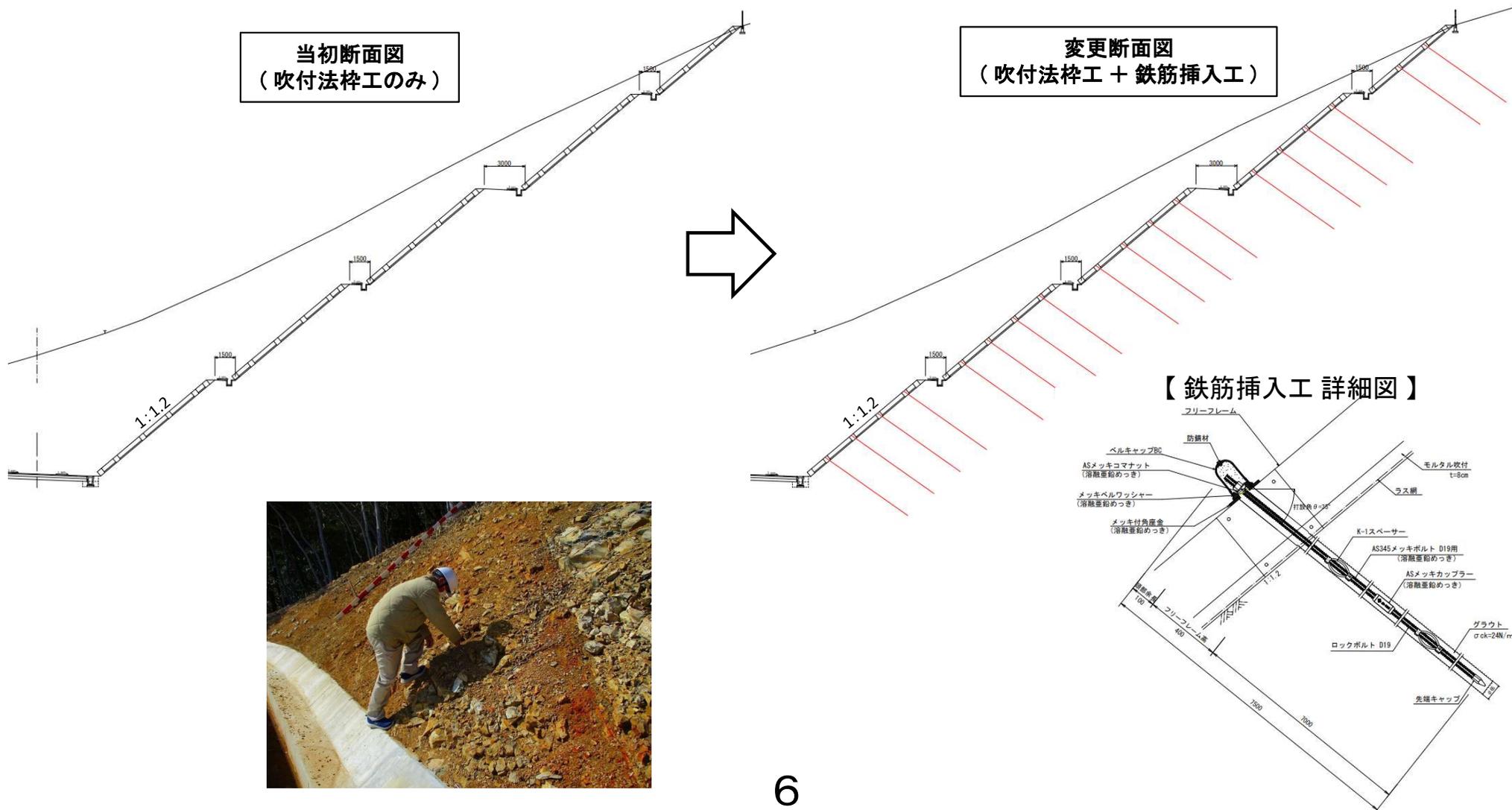
【事業費増】51億円(前回) ⇒ 55億円(今回)



事業費増の内容	事業費増減
①法面工の対策工法の変更	+1.5億円
②労務・資機材単価の上昇	+2.5億円
計	+4.0億円

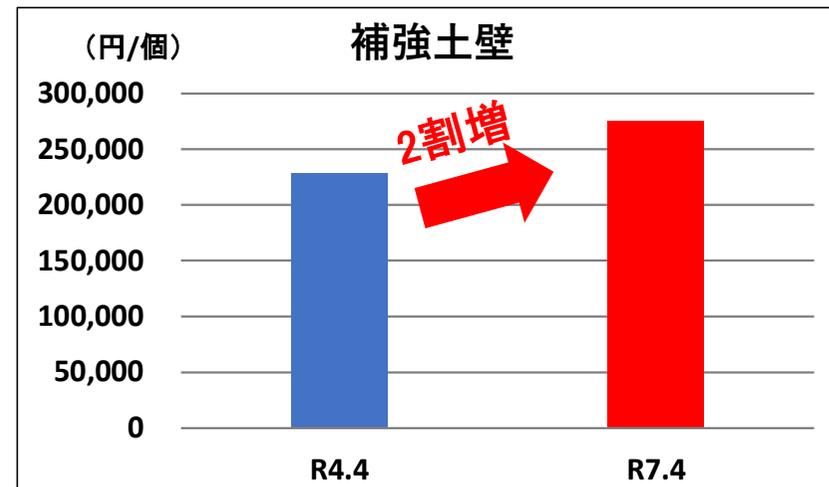
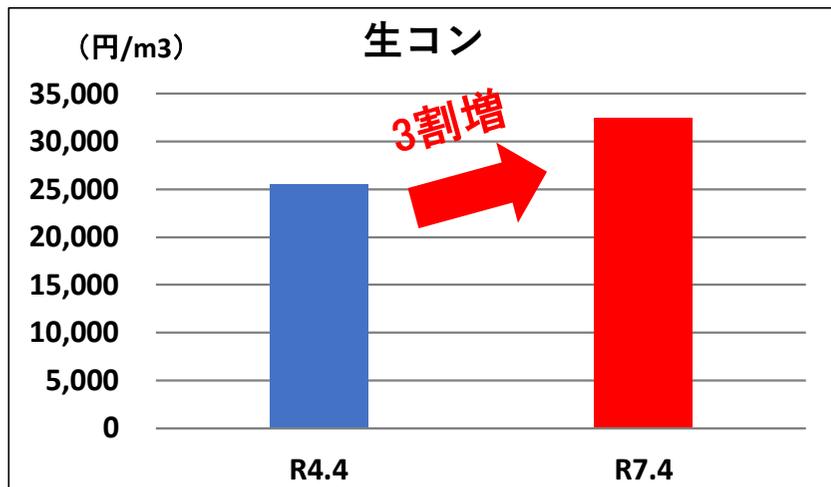
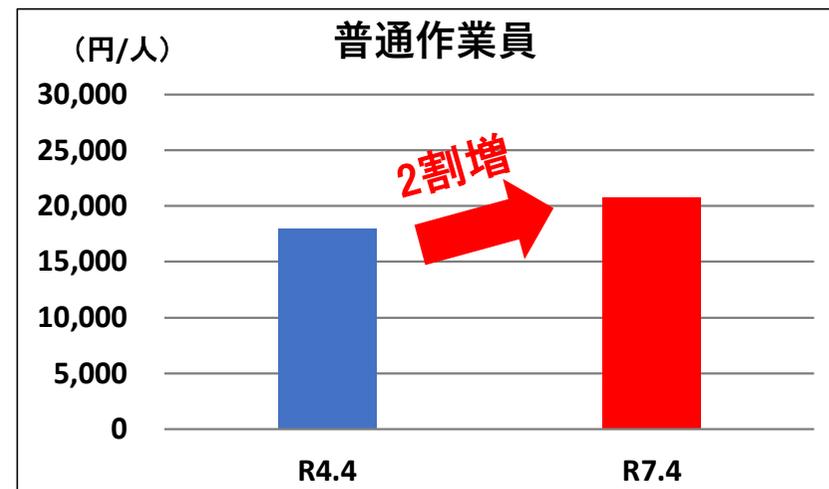
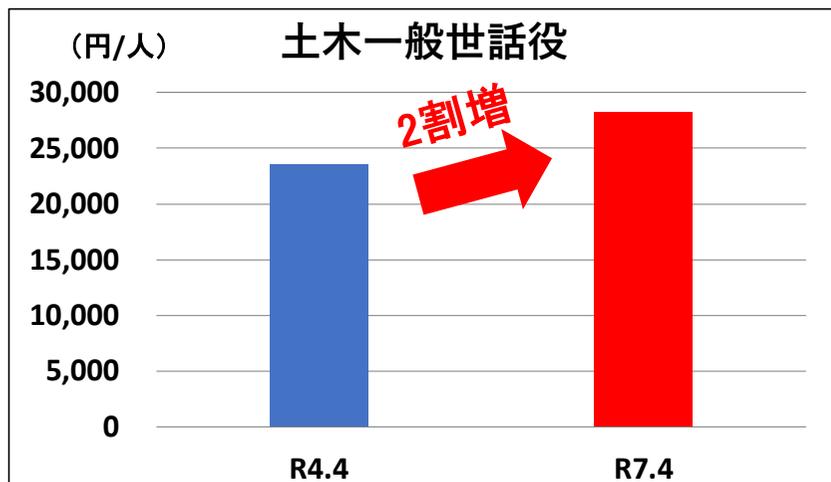
# 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し①)

事業費増の内容	増額	主な増額理由
①法面工の工法変更	約 1.5 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>切土施工後に法面地質を確認したところ、全体的に分布している凝灰岩の風化が著しいことから、対策工法を再検討した結果、吹付法砕工のみでは想定される法面崩壊を防止できないことから、鉄筋挿入工を追加する。</li> </ul>



## 4. 事業の進捗状況(事業費の見直し②)

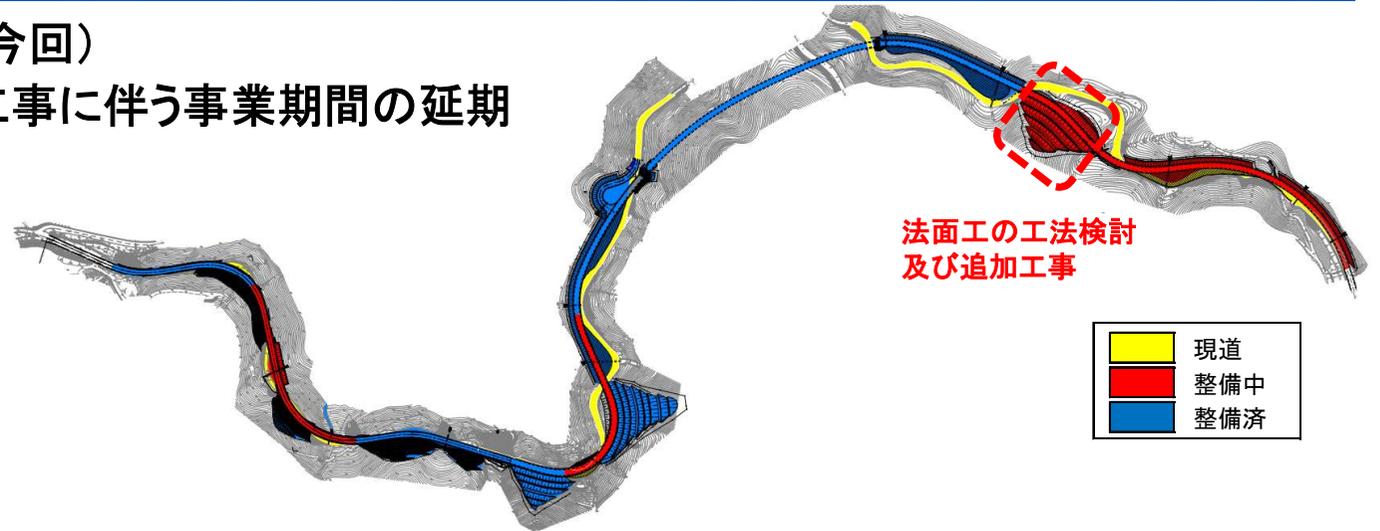
事業費増の内容	増額	主な増額理由
②労務・資機材単価の上昇	約 2.5 億円	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など



# 5. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R8(前回)→R9(今回)

・法面工の工法検討及び追加工事に伴う事業期間の延期



## ◆工程 (前回)

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
測量・地質調査												
道路・トンネル設計												
用地補償交渉												
保安林解除												
工事												

## (今回)

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
測量・地質調査													
道路・トンネル設計													
用地補償交渉													
保安林解除													
工事													

## 6. 事業の投資効果

### ◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和4年度)	今回評価 (令和7年度)
残事業	4.00 = 54.5億円 / 13.6億円	1.86 = 21.6億円 / 11.6億円
全事業	1.01 = 48.4億円 / 48.1億円	1.01 = 68.6億円 / 68.0億円

#### [費用]

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

#### [便益]

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少便益

#### [プラス要因]

- ・費用便益分析マニュアルの改定  
→原単位(価格)の増加

#### [マイナス要因]

- ・事業費の増
- ・工期の延長

### ◆ B/Cでは計測できない効果

- ・緊急輸送道路の防災機能強化

## 7. 対応方針(原案)

- ◆ 主要地方道厳原豆酩美津島線(尾浦～安神工区)は、円滑で安全な交通の確保及び観光等の産業支援を図ることを目的としている。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで78%[43億円/55億円]であり、用地進捗率は100%となっている。(令和7年3月末現在)
- ◆ 「対馬市」から整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果は見込まれる。

